

会 議 録

会議等の名称	令和5年度第3回東御市青少年健全育成審議会	開催日時	令和6年2月9日(金) 午後3時30分から午後4時20分
		場 所	市役所本館 全員協議会室
主催者(事務局)	教育委員会 教育課 学校施設・青少年教育係	司会者	教育課 深井課長
出席者	<p>【審議会委員】</p> <p>会 長 : 荻原慎一郎 副会長 : 上原真美 委員 : 芦田高英、横山榮二、五十嵐江利子、荻原美和子、辰野哲男、勝見藤一、鈴木健二</p> <p>【事務局】</p> <p>教育次長 : 柳沢秀夫 教育課長 : 深井芳信 学校施設・青少年教育係長 : 重田雄一 学校施設・青少年教育係主査 : 宮澤宏美 青少年健全育成専門員 : 小菅毅</p>		
欠席者	池田和生、滝澤晃志		

会議事項	(議題)	(配布資料)
	(1) 第3次東御市青少年健全育成計画の策定について	別紙
	(2) 令和6年度放課後子ども教室げんき塾開催要綱(案)について	別紙
決定事項 (要点を箇条書き)	・第3次東御市青少年健全育成計画の策定について、承認	
次回の検討事項		

討議内容及び経過	発言者名	発言内容(要点のみ記載)
1 開会	課長	開会
2 会長あいさつ	会長	荻原会長あいさつ。
3 審議事項 (1) 第3次東御市青少年健全育成計画の策定について	事務局	(1) 第3次東御市青少年健全育成計画の策定について説明。
	会長	事務局より説明がありましたが、質問・意見等ありましたら、挙手のうえ、お名前を述べてからお願いします。
		質疑無し
	会長	今回の変更点はデータの修正が多かった。今回の資料は次の計画までの傾向が分かる。私たちは傾向と対策を考えねばならない。委員は各自資料を持ち帰ってもらい、それぞれの活動の中で、話の話題としても活用をしていただきたい。

	会長	それでは、これまで十分に審議を重ね、審議会意見の反映も確認できましたので、「諮問された計画については妥当である」と答申したいと考えますが、いかがでしょうか。賛成の方は挙手をお願いいたします。
	委員	(全員賛成挙手)
	会長	それでは、これをもって答申としたいと思います。 答申書の作成を事務局に依頼し、委員のみなさんには、後程確認をお願いいたします。
	事務局	(答申書の作成)
(2) 令和6年度放課後子ども教室推進事業「げんき塾」開催要綱(案)について	事務局	(2) 令和6年度放課後子ども教室推進事業「げんき塾」開催要綱(案)について説明。
	会長	げんき塾は校外活動の一環として、異年齢間の交流の輪を増やす目的の事業である。 時代の変化とともに中心人物となるような、仲間をまとめる子どもが減り、内向的な性格となり、リーダー素質が育たない状況である。この事業は学校のカリキュラムに取り込むことも難しい。お兄さん、お姉さんの学年とボランティアで交流できれば地域での交流も増えるのではないかと考える。 げんき塾はこれからも継続する事業ですか。
	事務局	はい、今後も継続して実施していきたいと考えております。
	会長	・私もかつて子ども会活動、ボランティア活動をしていた。かつては東部町にも北御牧にもあった。残念なことに本人の忙しさや地域、社会の変化もあり、ボランティアの青年はなかなか育たない状況である。 ・しかし、計画の中で仕方ないではすまされない。昨今、子どもたちのコミュニケーション能力低下、協調性の低下、わがまま、外されるとむきになる、輪を乱すといったことが問題となっている。 ・これらは家庭にも問題があると思う。家族で話し合いができていないのか、話し合いができていれば地域の中で遊ぶこと、意欲の発掘にもつながると思う。彼らが、彼女らが大人になってからリーダー資質が欠けている状況が起きるので、将来的に地域づくりに影響する。彼らが芽が出ないまま大人になってしまい、地域弱体化、これは現実起きていて、大変苦慮することになる。それらを食い止めるにはそれぞれの組織、団体に体験活動を増やしていくことだと思う。 ・子どもたちを企画段階から仲間に入れることは大切だと思う。それが未来の地域づくりに影響する。子どもたちにいい環境、いい人づくりというものがどういうものか考えて地域づくりをしていただきたい。
	事務局	答申書(案)が出来ましたので読み上げをいたします。 ～答申書(案)読み上げ～
	会長	この答申書の内容で審議会の意見として適当だと思いますがいかがでしょうか。(委員の意見聴取) よろしいでしょうか。これを当審議会の答申書といたします
	4 答申	花岡市長、会長
	花岡市長	花岡市長よりあいさつ。
	会長	荻原会長よりあいさつ。
5 その他	事務局	次回審議会について説明。
6 閉会	課長	閉会